

TTCにおける NGNへの取り組み状況

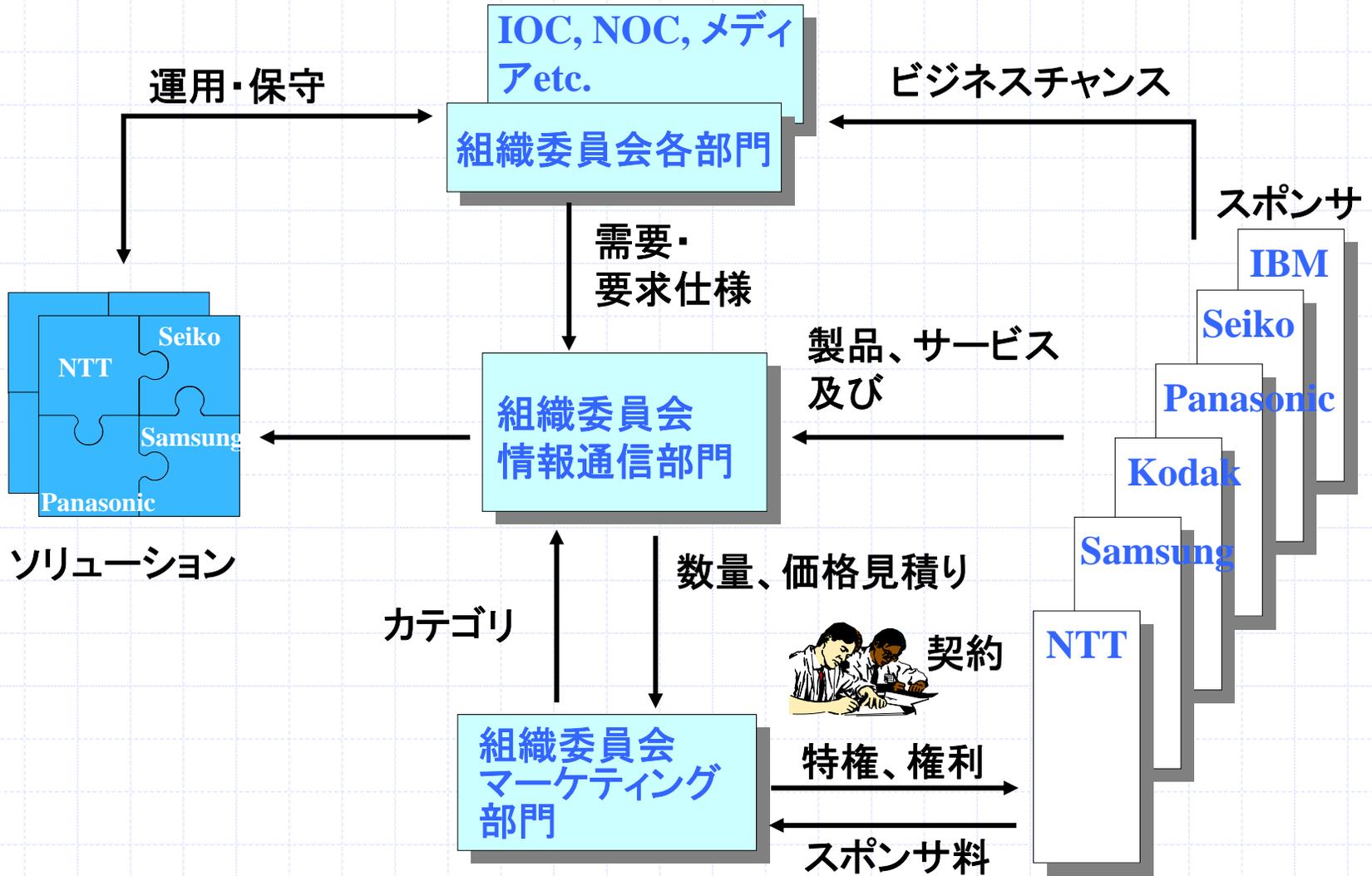


平成18年3月15日
社団法人 情報通信技術委員会(TTC)
内藤 郁夫

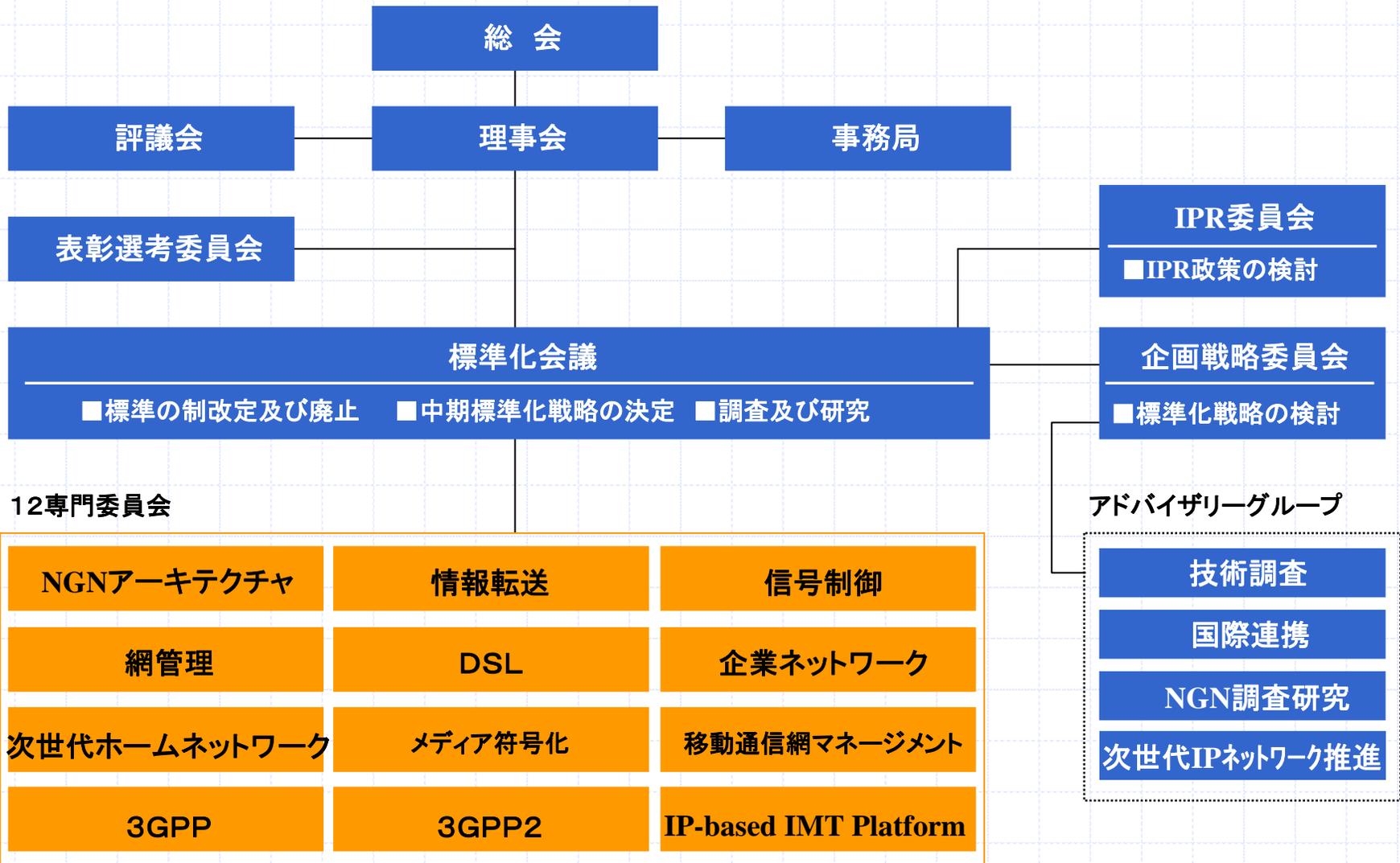


社団法人 情報通信技術委員会

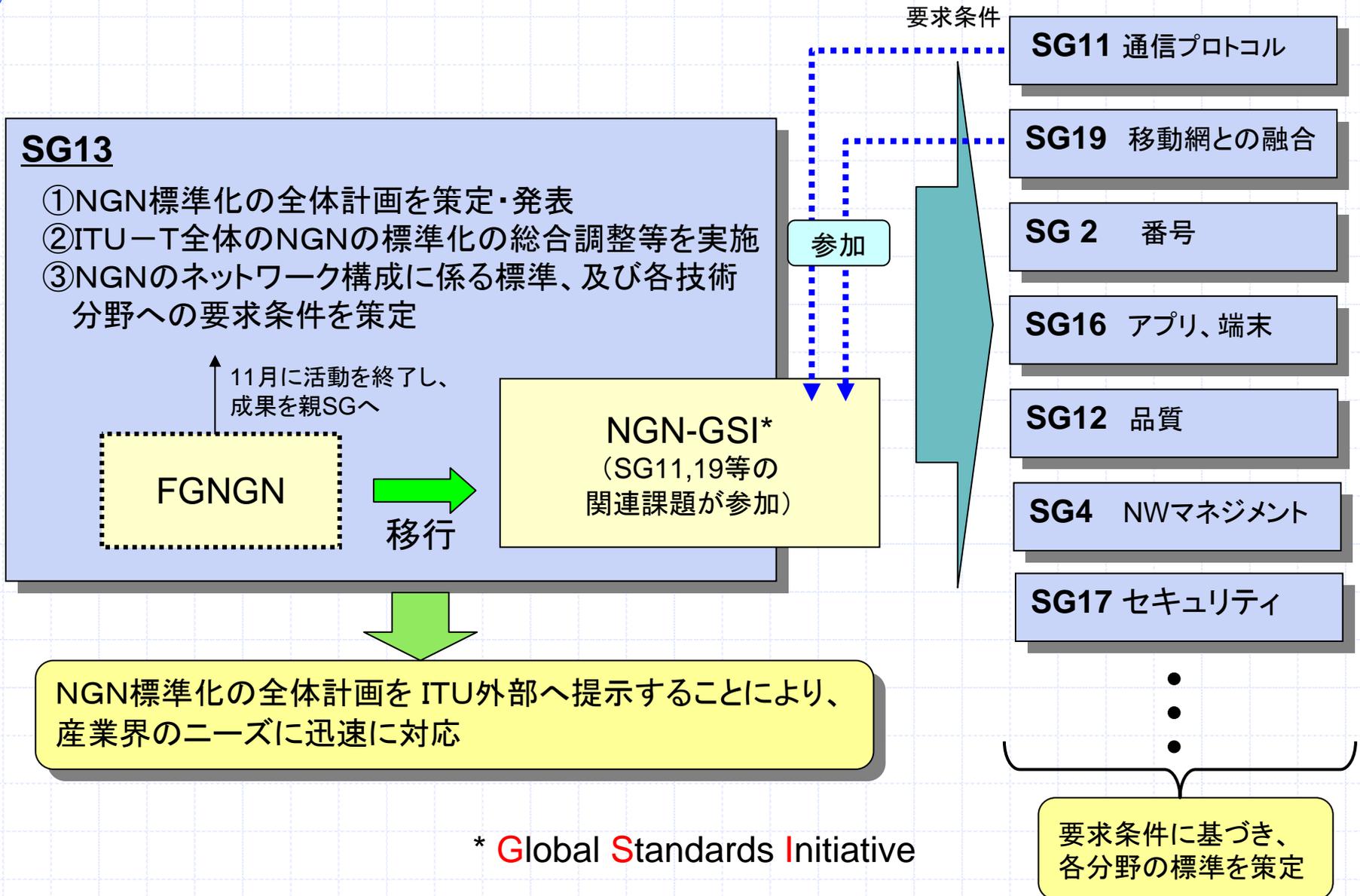
要求条件とスポンサーシップ



TTC組織図



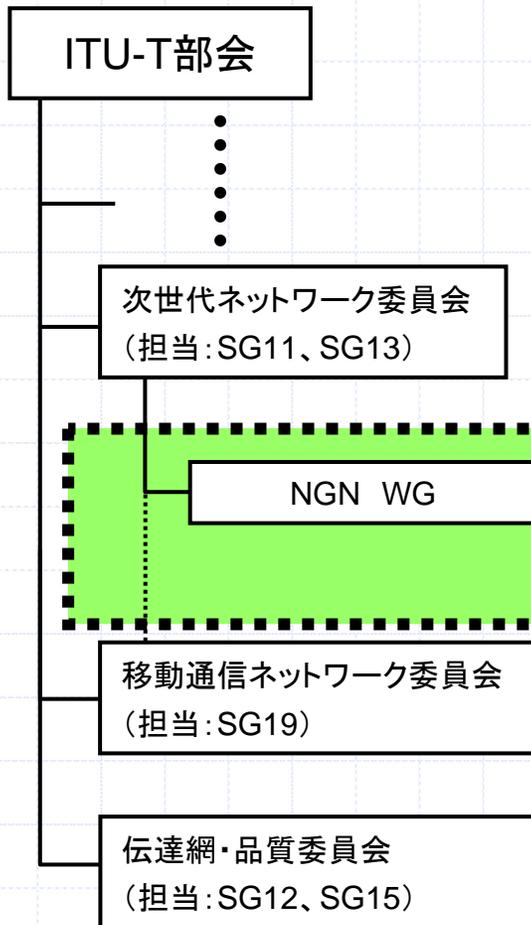
ITU-Tにおける標準化体制



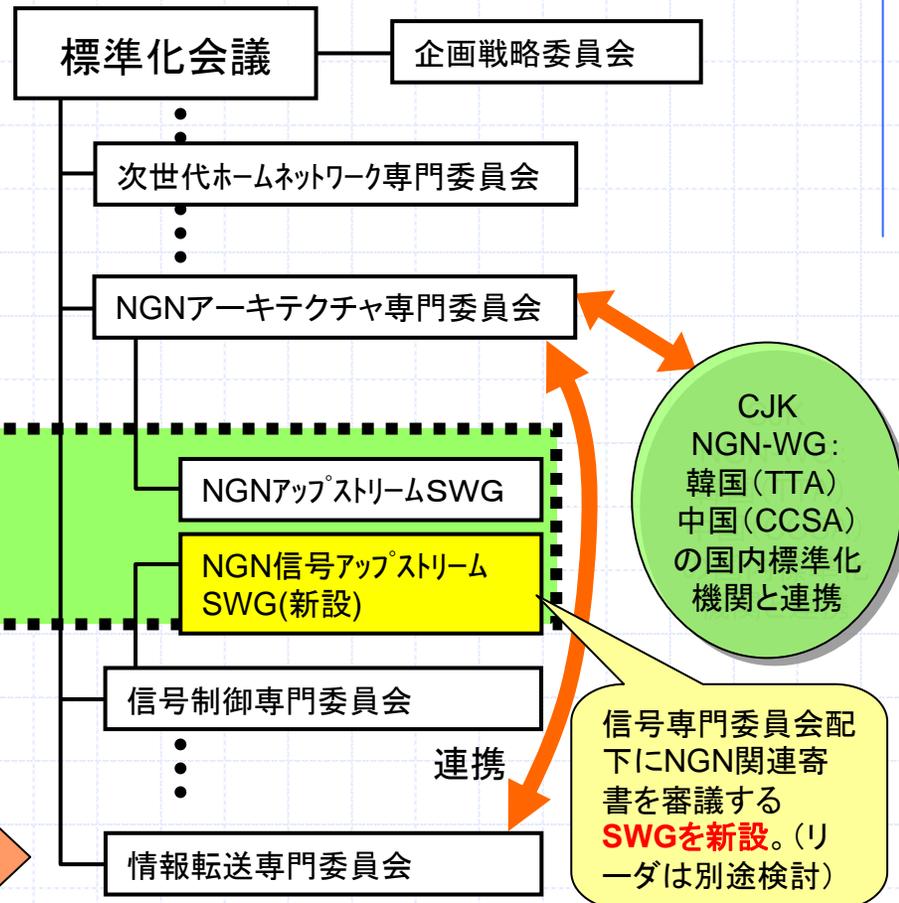
* Global Standards Initiative

NGN国内標準化体制の強化

① 情報通信審議会情報通信技術分科会



② TTC



NGN信号方式のアップストリームの活性化とITU-TのNGN-GSI体制との整合を考慮し、TTC信号専門委員会に**NGN信号アップストリームSWGを新設**し、既存のTTC NGNアーキテクチャ専門委員会アップストリームSWG／総務省 NGN-WGと**一体的運営**することにより、NGNの国際標準化の関係者が結集する場を整備する。検討対象は、NGN-GSIで特定されたSG11と13の課題(Q)とする。(SG19との連携は今後検討)

中期標準化戦略

ジャンル名	ネットワーク	担当専門委員会	NGNアーキテクチャ			
標準化項目	NGNアーキテクチャに関すること					
他標準化団体の動向	<ul style="list-style-type: none"> ITU-Tにおいては、フォーカスグループの検討期間が終了し、リリース1の対象範囲と機能アーキテクチャが成果としてSG13に送られ、NGN-GSI体制の中で継続検討となった。上記を含め、インターワーキング、リソース管理、既存網からのエボリューションなどがH18年末までに勧告化が予定されている。 一歩先行しているTISPANは2005年12月にリリース1の標準約50件程度をほぼ完了している。 CJK NGN-WGでは、従来からのテストベッド議論に加え、ITU主要文書の共同編集体制を構築しつつある。 					
日本における状況 (技術動向、市場動向、標準化の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> 産学官による次世代IPネットワーク推進フォーラムが立ち上がり、NGNの相互接続活動ならびに、技術開発・標準化活動が加速化されることが期待される。 NTTは2005年11月にNGN導入シナリオを明らかにし、2006年末にフィールドトライアルを開始することを発表している 固定系ブロードバンドユーザが2100万、光加入者が400万を越えた。 					
TTCの標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> NGNのアーキテクチャ面については、Y.NGN-R1-scope, Y.NGN-R1-requirements, Y.NGN-FRA(注1)、Y.RACF等(注2)を標準化対象の候補として検討する。 活発化しつつあるSG11への信号方式に関する国内寄書についても、信号制御専門委員会と連携してアップストリーム活動を活性化する。 SG19へのアップストリーム活動についても、連携を探る。 CJK NGN-WG対処として、テストベッドの有効性の継続検討と、共同編集文書の拡大を検討する。 次世代IPネットワーク推進フォーラムへの対応も検討する。 					
活動計画	H18		H19	H20以降	ドキュメント区分	記事
●標準化活動	▼ 注1	▼ 注2	▼		J	注1:上記の3文書 注2:上記文書等
●調査活動						調査はHIS-A NGN-AG
●アップストリーム	■	■	■	■		2006年4月、7月、10月 2007年1月(仮)に対応
	ITU-T会合					

凡例: ▼ドキュメント制定(標準:J、仕様書:TS、技術レポート:TR、調査報告書:SR)、■会合時期

NGN調査研究AG

18年度NGN調査研究アドバイザリグループ(NGN-AG)の調査項目

1) NGN運用管理(SG4、NGN Management FG)

- －NGNのエンドーエンド運用管理
- －NGNでのサービスプロバイダ間での情報交換

2) 本年の調査研究で、メンバ各社の関心の高い下記テーマについてさらに調査研究を進め、専門委員会設立の必要性について判断する。

- －Networked RFID
- －通信放送連携
- －Parley, JainなどのSDP(Service Delivery Platform)が規定するAPI、コンテンツの機能アーキテクチャ、コンテンツ制御(DRM等)
- －アプリケーションサービス

またこれらの情報収集には総務省等の研究開発予算、支援策(出張費の補助等)の活用、次世代IPネットワーク推進フォーラム、戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)等の活用も視野に入れる。

CJK標準化活動

アジアの連携による戦略的標準活動の強化

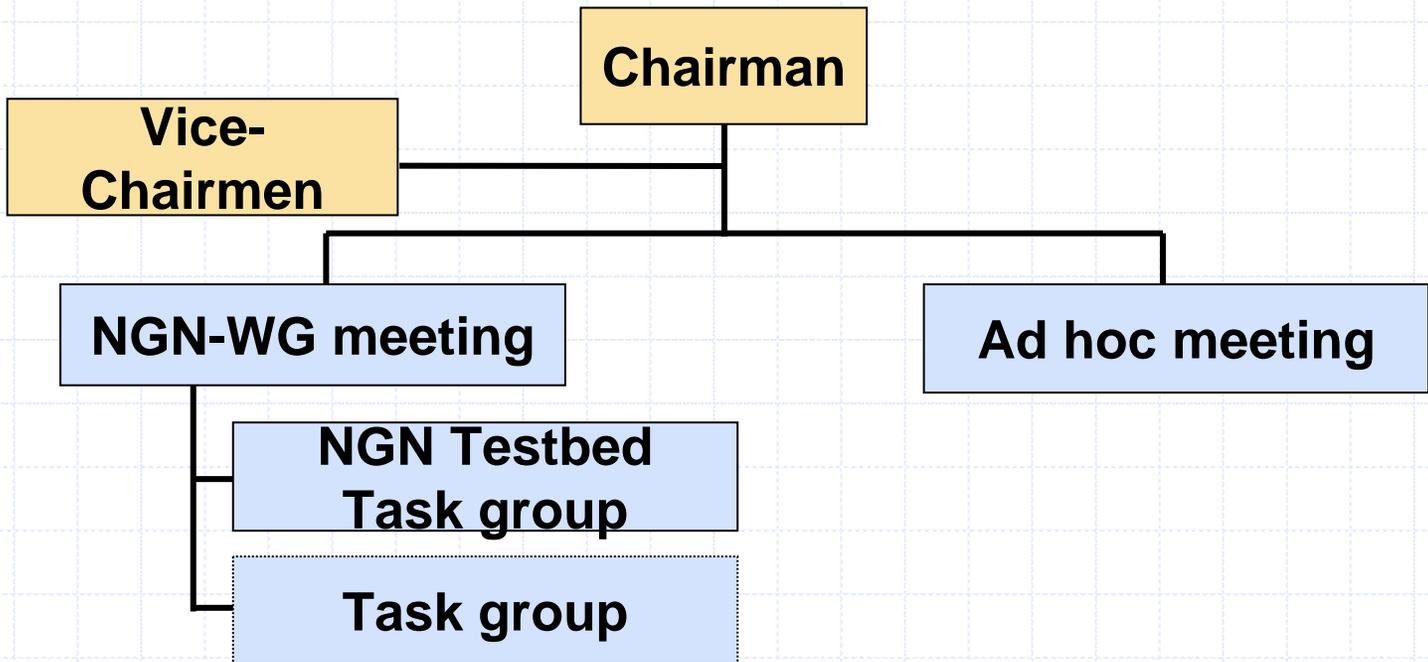
NGN-WG会合

方向性、主要な技術的課題を議論し、CJKの協調を推進する。

アドホック会合(技術者による)

ITU-T会合出席者による、相互に関心のある仕様書の技術検討をする。

ITU主要文書の共同編集作業の実施。



(仮称)次世代IPネットワーク推進フォーラムAG

「次世代IPネットワーク推進フォーラム」に積極的に貢献を検討する窓口として、次世代IPネットワーク推進フォーラムAG(仮称)を設置する。

AG設置案は事務局で検討中。

関連専門委員会の中期標準化戦略のTTC標準化方針等に、「次世代ネットワーク推進フォーラムに対応する検討や仕様策定をする」という内容を追記しておくことにより、速やかに標準策定に着手できるようにする。(標準化計画作成までに具体化できると望ましい。)